

広 報 費

支払日	内 容	金 額 (円)	領収書No.
3/19	会派会報印刷製本代・折込料	697,411	19
	計	697,411 円	

合 計	697,411 円
-----	-----------

領収書貼付用紙 (研究研修費・調査旅費・資料作成費・資料購入費・広報費・その他)

貼 付 欄

領収書
No.

19.

領 収 証

令和2年3月19日

自由民主党周南 様

金額

¥ 6 9 7 4 1 1 -

但し 会報印刷製本代・送料として

上記正に領収いたしました



dac.

株式会社 ダッ

代表取締役 檀 上

山口県周南市櫛ヶ浜125番地
TEL 0834-33-8739 FAX 08

納品書

2020年3月16日

自由民主党周南

御中

下記の通り納品致します

合計
金額

¥697,411 -

da

株式会社

代表取締役

〒745-0805 山口県周南市櫛ヶ浜12

TEL:0834-33-8739 FAX:0834-33-

品名	数量	単位	単価	金額
1)会報 制作・印刷代 A4×6ページ 3つ折り	18,300	枚	27.20	497,760
2)会報 新聞折込料 3/20 朝刊 中山間地域全域 朝・毎・読・中 配送料	2,500 1	枚 式	7.50	18,750 5,000
3)会報 ほっぷ折込料 3/20号 南陽・周南西指定エリア	5,660	枚	7.50	42,450
周南中央・周南東指定エリア	9,340	枚	7.50	70,050
小 計				¥634,010
消費税(10%)				¥63,401
合 計				¥697,411

「自由民主党周南だより」

令和2年3月発行

周南市市花「サルビア」

周南市のみなさまへー今とこれからの
「安心安全な暮らし」をお約束いたします。



ごあいさつ

自由民主党周南は、会派として今年度は特に徳山大学公立化の議論のため、様々な角度から調査をしてまいりました。その中でも文部科学省において、これからの国公立大学の動向、改革への取組等のレクチャーをいただいたことを今後の議論にしっかり生かしてまいりたいと思います。

また、市政全般にわたって、周南市議会の中でより良い提案、質問、指摘ができるよう、会派での勉強を重ねております。このたび、この一年間を通しての会派の取組をご報告いたします。

それぞれの視察報告書は周南市議会webサイトにて閲覧することができます。

※令和元年度分の視察報告書の掲載は5月以降になる見込みです。

▼周南市議会 議場



周南市議会 webサイト

周南市議会

検索



たむら ゆういち
田村 勇一 議員

・環境建設委員会 ・まちづくり総合計画策定に関する特別委員会

人口減少・少子高齢化と財政の危機

周南市の喫緊の課題は、人口減少・少子高齢化と財政の危機であります。

この難題に立ち向かうのが、行政であり議会です。すべての政策は費用対効果が求められ、いかに知恵と工夫を凝らし、あらゆる角度から探求し、議決しなければなりません。

ゝん。その責務は重大です。本市も合併以降、大型投資をしてきましたが、これらは合併特例債という恩恵によって進められてきました。ところが、令和元年以降は特例もなくなります。しかし、重要案件が山積みしており、思い切った決断が次代への礎になると考えます。

〈主な一般質問〉

健康づくり都市宣言を！

問 健康づくり都市宣言を行い、ラジオ体操の普及、血圧測定の実施、健康体操の促進、健康診断の励行を提案し、健康増進を図るべきと考えるが、どうか。

答 超高齢社会を迎え、後期高齢者の増加、それに伴う医療費等、社会保障費の負担増加などが予測される中、今後は一層、生活習慣病予防やその重症化を防ぎ、健康寿

ゝ命の延伸を目指すことが重要であり、市民一人一人が主体的に健康づくりに取り組めるよう支援する。健康づくり都市宣言については、実現に向けて最大限努力する。



産業維新展の継続を望む

問 産業維新展の開催は、子供たちに夢と希望を与え、県内・市内企業への就職、人口定住への足がかりとなる。小さいころから産業に対する認識を深めるためにも、本市において今後も継続し、なおかつ充実した内容で開催するよう県に働きかけてほしいが、どうか。

答 やまぐち産業維新展実行委員会の事務局である県に確認したところ、次の開催の有無や開催時については、現在（令和元年12月）のところ未定となっている。本市としては、小中学生や高校生、大学生等の若者が県

ゝ内の企業を知り、新たな刺激を受ける産業維新展の開催は、地元企業への雇用促進と人口定住につながるものと期待しており、今後の継続と内容の充実を県に対して働きかけていきたい。

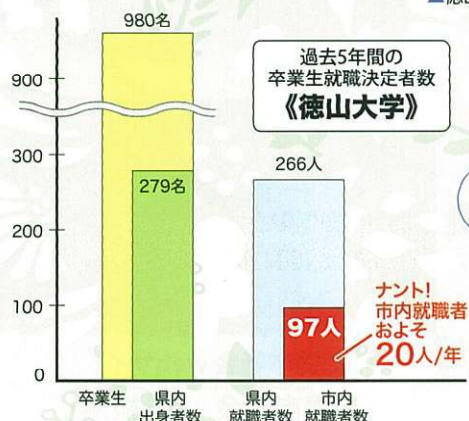
徳山大学と徳山工業高等専門学校の卒業生就職状況

徳山大学の卒業生980人（過去5年間の実績）

そのうち県内出身が279人、そのうち県内に就職された方が266人、うち市内に就職された方は97名に過ぎません。



▲徳山大学

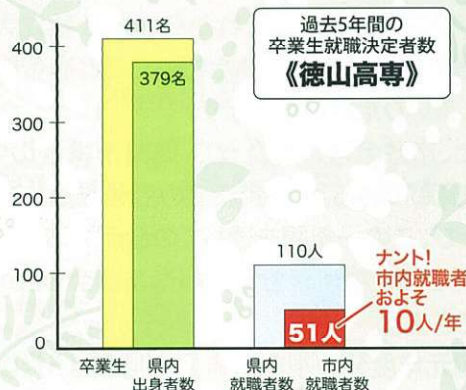


一方、徳山工業高等専門学校の卒業生588人（過去5年間の実績）

うち県内が411人、就職決定者が379人、県内に就職された方が110人、市内が何と51人、これを見ますと大学は大体年に20人、高専においては10人というような低さです。これだけの学生が周南市に在籍しながら、就職率は10%未満という状況です。



▲徳山高専





よねざわ ちたつ 米沢 痴達 議員

・企画総務委員会 ・予算決算委員会 ・中心市街地活性化対策特別委員会
・公共施設再配置に関する特別委員会

藤井市長に期待する

ふかん 俯瞰的視点から

藤井市長就任から1年が経とうとしているが、5年先10年先を見据えたまちづくりのビジョンが見えてこない。

「市民の声を聞く課」を設置して市民の声を聞くのも良いが、大方の市民の声は日常生活に直結する声であろうということは、想像に難くない。「木を見て森を見ず」では困る。

私はこのまちをこのようにデザインしたい、そのビジョンに対して皆さんの声が聞きたいをいう政治姿勢でないと、大衆迎合主義となるのではないかと心配する。

「市民に寄り添う」「分かりあえる」まちづくりは基本中の基本であるが、情緒論ではまちづくりはできない。市長は「周南市はポテンシャルが高い」と口にするが、俯瞰的視点から高いポテンシャルを生かした藤井カラーのにじむまちづくりが待たれる。

令和の時代に入り、世の中はいよいよ混沌としてきている。何よりも地方自治体の課題は、人口減の克服と労働人口を増やすことである。このことに道筋がつけば、自ずと地方に希望がわいてくる。

公立化だけが選択肢か

そこで浮上してきたのが徳山大学公立化問題である。

徳山大学は若年層が減り続け、地方私大冬の時代の渦中にある。公立化すれば受験者が増え、偏差値は上がり大学ブランドも向上する。学生数も確保でき、まちは活性化する。国からの交付金もあり、市には迷惑をかけないといことづくしのようであるが、本当にそうであろうか。学生に選ばれる大学でなければ、やがてブランドメッキははがれる。

市民の側からすれば、市税でもって大学を運営するのであるから、費用に見合う効果がある。地域貢献といいながら地元の子供が締め出され、市税でもって教育をした学生が卒業後地域外に出て行つては元も子もない。



▲周南市役所

本市のひっ迫している財政状況、細っていく国からの大学交付金を考えると、新たな大規模公共施設をかかえることは、市民生活にも影響を及ぼしてくる可能性も否定できない。

心情的には、徳山大学は地域に輝き続ける大学であって欲しい。徳山大学存続の為には、公立化だけが選択肢なのか、他の方法はないのか、慎重な議論が求められる。

イノベーションを生む

地方創生の創生という意味は、イノベーションを生むということである。他の自治体と横並びではなく、初めてやる、他の自治体とは違うことをやる視点が求められる。

無い袖は振れない財政状況にあつて、地方を蘇生させるのは少々のエネルギーではない。藤井市長には「船頭多くして船山に上る」ことのないように、守るべきものは守り、変えるべきものは変え、安心と夢のあるまちづくりを期待する。



▲徳山駅前広場



ふくだ りえこ
福田 吏江子 議員

・教育福祉委員会 ・議会だより編集委員会 ・中心市街地活性化対策特別委員会
・都市計画審議会委員

これまでの提案が新年度予算に反映

【新年度(令和二年度)予算】一般会計 630億8,100万円 (前年度比 △2,700万円、△0.1%)

議会活動の中で提案し、この度の新年度予算に反映された主な事業をご紹介します。

**3歳児健康診査時に
眼科屈折異常検査機器による検査を導入**

新規

不妊治療費助成、不育症治療費助成

拡充

学校給食費徴収に係る電算システムの導入

新規

学校業務支援員配置(小・中学校26校)

拡充

また、**所属する教育福祉委員会において、引き続き特に注目したい事業**をご紹介します。

学校ICT環境推進事業

小・中学校の全ての普通教室に大型ディスプレイ配備

拡充

小学校普通教室空調設備整備事業

PFI事業により一括して整備

幼児教育推進事業

新たに(仮称)幼保小連携アドバイザーを設置

拡充

病児保育事業 病児保育施設の新規設置事業者に
対し、施設整備費用の一部を補助

拡充

英語教育推進事業

外国語指導助手の配置(15人)

拡充

子育て世代包括支援センター事業



議会だよりリニューアル

令和元年6月より議会だより編集委員会にて委員長を
拝命し、より良い議会だよりの発行を目指しリニューアル
に取り組みました。

会派からの意見として、

■レイアウトを整理し、紙面にリズムがあるよう
に何が定例会のポイントだったのか、今の
議会だよりの紙面ではわかりづらい。

■議員からの提案とか提言をわかりやすく、議
会の動きや働き、提案された議案の結果ど
うなったのかを読み手にわかるようになると
良い。



◀周南市の議会だより

広報コンクールの上位と比較・検討したらどうか

⇒委員会内で広報コンクール上位自治体の議会だよりを
取り寄せ、また先進地の視察に行くことになりました!

1年に1回市民に感想を聞く

⇒議会だより編集委員会で市内高校生との
意見交換会(ミニコン)が実施されました!

トピックスのつけ方を変える

⇒議会だよりに反映されました!

二次元コードを早速つけてwebサイトとの連携をすると良い

⇒議会だよりに反映されました!

市民の皆さんへより分かりやすい市議会の情報発信を目指
せるよう、議会だよりのリニューアルが進むことを望みます。

周南市議会だより



周南市議会
インターネット中継





かねしげ はじめ 兼重 元 議員

・議会運営委員会 ・企画総務委員会 ・予算決算委員会
・公共施設再配置に関する特別委員会 ・まちづくり総合計画策定に関する特別委員会

徳山大学の公立化を考える

■少子化による大学経営の現実と競争

2009年来、私立大学の公立化は10校です。いずれも地方都市ですが、その背景には、少子化の進展に伴う私大経営の困難が共通の要因になっているようです。さらにこれから間違いなく18歳人口の大幅減少がやってきます。そして若者の大都市志向は続くと思われ、地方都市の私立大学では大学進学者確保は一層難しくなるでしょう。

文科省では19年6月、国立大学改革方針を示し、イノベーションを創出する知と人材の集積拠点としての役割や地方創生・地域経済活性化の役割を担うため改革を進めると明記しています。もちろん私立大学でも大学改革は避けられません。そうなれば大学間の「市場競争」は激化するばかりです。徳山大学もその市場の中で競争を強いられるわけです。

■選ばれる大学とは

大学の魅力や学生吸引力は、大学の教授陣が構成する学術的レベルや教育レベル、そして結果的に学生によって具体的に表現される成果であろうと思います。独自の市場訴求力を持たない、あるいは脆弱な私立大学は、公立化されても経営上の困難から解放されることは難しいでしょう。



■周南地域が求める有為な人材とは

市長は徳山大学を公立化して、市の公費負担で大学を職業教育の場に変え、周南市に若者を引き留めて、人口減少対策の有効な手段とするかのようなようですが、合理性はなさそうです。

およそ企業は将来的に有為な人材、労働力を確保す

るために地元の大学に執着することはないでしょう。同様に周南地域に立地する諸企業も広範に人材を求められると思いますから、徳山大学にとって、地元はもとより全国的・世界的とも言える「関係市場」の中で競争し、打ち勝てる人材の育成戦略が求められます。

■^{かい}まず隗より始めよ

(大事業をするには、まず身近なことから始めよという中国の諺)

徳山大学は周南市の「地と知の拠点」となり、活力のある人材の育成と定着を図ってゆくには公立化が最適な運営形態である。市長も公立化(市立化)だけを考えている。と断定結論ですが論拠不明です。

20年度施政方針では「ハードからソフトへ」と政策転換を明らかにしていますが、これは徹底した歳出削減によって安定した財政基盤の確立を図ろうとするものです。「大学の公立化」とは間違いなく新たな財政負担が加わる訳です。「地域に光り輝く大学」をと、存続を願っていますが、公費による救済策と言われない為にも唯一の選択肢なのか、市民の負担に応える受益の確保が可能なのか、市民を巻き込んだ幅ひろい議論が不可欠です。



▲徳山大学

さきの中間報告では「公(市)立化は目的ではなく、最重要課題である大学改革の手段」だとあります。すべからく自らが大学改革を大胆に進め、経営財務上のリスク回避をいかに図るか、教育内容に工夫を凝らしてその社会的存在価値の引き上げをいかに目指すか、「まず隗より始めよ」であるべきでしょう。

暮らしやすい**周南**。誇りがもてる**周南**。
周南市民のために―。私たちの**使命**です。



周南市は今、第2次まちづくり総合計画の思いが形となり、都市部においても中山間地域においても地域づくりの動きが顕著になってまいりました。さらにこの動きを加速していかなければならない大切な時であります。継続こそ力なり。私たち会派一同、市民の皆さまと共に、市政発展に全力投球していきます。

― 視察研修 ―



周南市議会 自由民主党周南

かねしげ はじめ たむら ゆういち よねざわ ちたつ ふくだ りえこ
兼重 元 / **田村 勇一** / **米沢 痴達** / **福田 吏江子**

周南市議会事務局 ☎0834-22-8503



※この自由民主党周南だよりは、政務活動費で作成しました。 ※文責：兼重 元